THE WOMAN'S WEEKLY

第三巻 第四十號

大正六年十月五日發行(毎週金曜日發行)

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□突如として現はれた帝都の原始生活……小橋三四子
□時事週評……
□國としての女……芳賀博士
□私の一日「野上彌生女史」……記者
□婦人界開拓者の家庭訪問「高島平三郎氏とその夫人」……つる子
□いろいろの社會「女占者の內幕」……佳子
□新歸朝の上代たの子女史……小支
□暴風雨のあさ……東京だより……
□山登りの好期……瀬田斬雲
□小崎家の新築拜見……記者
□古物をミシン刺繍で生かす法……矢野元子
□甘藷料理……川崎まさ子
□オハナシ「自然兒」……琴子
□小話「黄金の路」……波留子
□小説「犬と彼等」……高田てい子
□讀者だより……
□時事……編輯室より……

定價一部四錢五厘 郵税五厘

婦人週報社

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（チューリップ）

營業要目

一、花卉種苗球根直輸入
一、一般園藝植物培養
一、一般花卉裝飾調進
一、花壇溫室設計請負

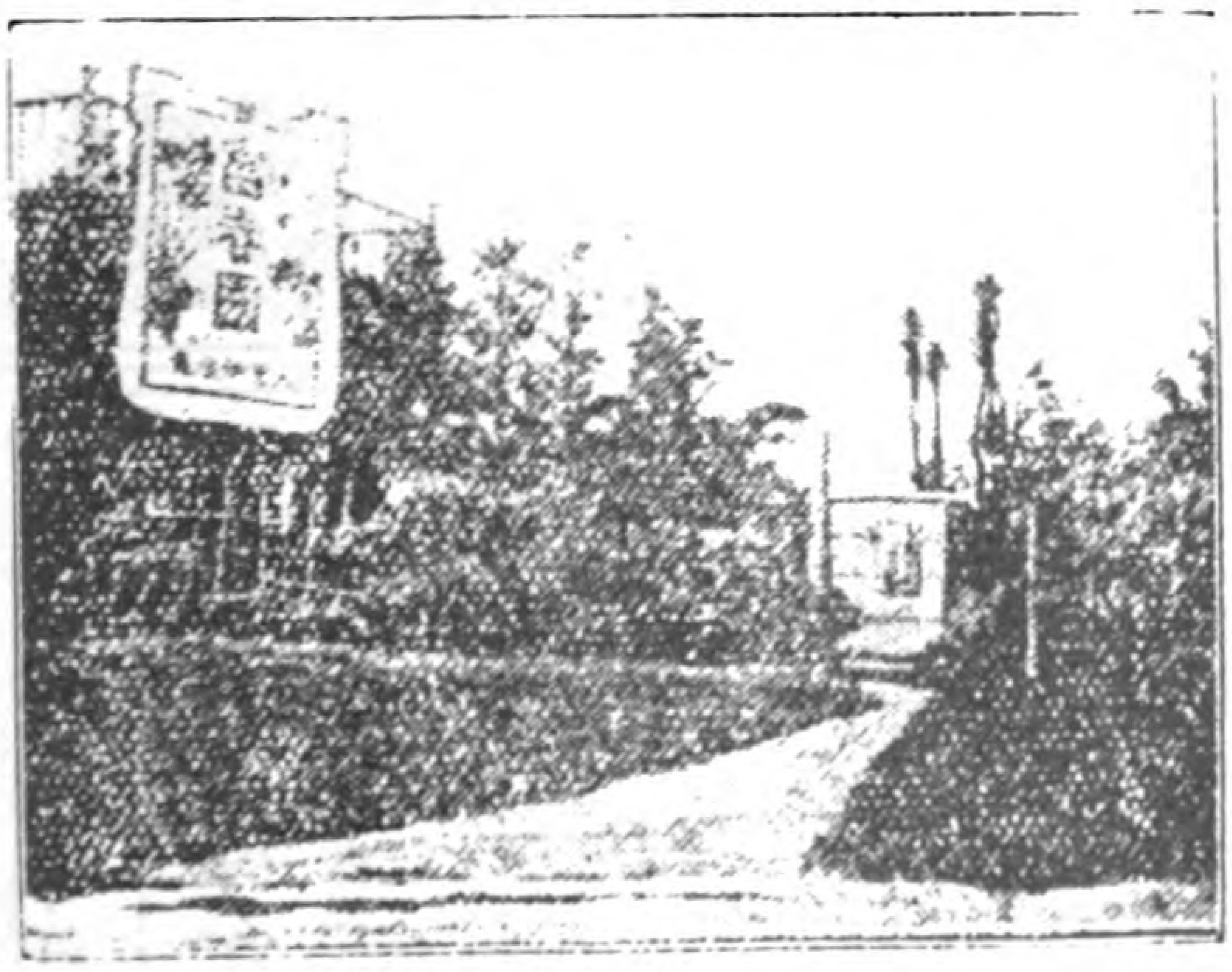
草花秋蒔
球根の植込
時期來る!!

新裝一般草花目錄『花のたより』出來
郵券四錢封入御申越次第進呈

東京市外高田村（目白驛北二丁）

富春園

電話番町一七一五番
振替（東京）三〇七二一番



（富春園入口）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

突如として現はれた
帝都の原始生活

□暴風雨の惨害

三十日夜來より一日曉にかけての大暴風雨は、五十年來絶えて無かりし狂暴のものと言はれ、滿都四十萬戸の人家の中、倒壞千三百四十六戸に及び、死者實に百三十八名を數へ、重輕傷者百六十六名、行方不明二百十七名、炊出救助を受くる者十萬の多きを算し、其の惨害の狀は、宛然戰鬪の跡を見るやうでありました。幸に被害を免かれた市民も、俄かに電車、汽車の交通杜絶、電話の不通等にて、事務上の支障を蒙つた事は夥だしく新聞は來らず、更らに瓦斯製造所の浸水にて、臺所の煑炊きは俄かに不便を感じ、夜に入りては、電燈は點火せずして、蠟燭の火を便りに事を辨ずる有樣でありました。

□其の跡を眺めて

其の惨害の跡も知らぬげに十六夜の月が皓々と澄み渡つた其の夜は、却つて戸外の明るさに誘はるゝ位でした、昔も今も變らぬ大空に、朗らかに照る月光を浴びながら、文明の利器から離れた帝都の有樣を眺めて、さまぐの感慨に耽るのでした。

突如として現はれた帝都の原始生活には、淺からぬ意味があるのではなからうか。昔のノアの洪水のやうに、單純に神の意志の現はれでない迄も、漸く文明の恩惠に馴れ、螺旋一つ廻して水も出れば、火も點く便利な生活を續け、其の日常を安易に愉快に過しつゝある都會人は、稍もすれば、其の恩惠になれて、閑暇の時を享樂に費し、稍もすれば奢侈安逸に流れやうとして居ります。而して自ら作つた虛禮に煩らはされ、虛僞に苦しめられ、互ひの醜い感情に暗鬪を續けつゝ足元の事に齷齪して更らに人力の及び難き大なる天地あるを忘れんとして居ります

□戒めの鞭

少しく目を揚げて遠方を見れば、其處には今戰禍に苦しみつゝある多數の國土と人民とを見るでありませう、戰線に起つて苦鬪しない迄も、愛する者を失つたり、食糧の制限を加へられたりしながらも、なほ正義の勝利を希ひつゝ、骨を削り、肉を殺いで、後援の苦鬪を續けて居る者も多いことであります。一と度かやうな境遇に我が身を置けば、どうして痛みを感ぜずに居られませうか。三度の食事を二度にしても何等かの同情を現はし、友邦の國民の苦痛を共に負はうとしなければなりませぬ。更らに萬一私共が其の境遇に起たねばならぬとしたなら、如何な用意があるでありませうか。二年三年と云はず、一年食糧の道を斷たれても、よくこれを支へ得るでせうか。更らに婦人は男子無き國を、後顧の患ひなき迄に、支持して行く事が出來ませうか。其の精神、其の體力、其の智力は能くこれに堪ゆる訓練を經て居りませうか。これは決して遙かな問題ではなく、目睫の間に迫つて居る事にも拘らず、等閑視しやうとして居ります。假令一時でも、戰場の跡を見るが如き、この帝都の惨害

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は、私共の神經を醒すにこの上ない刺戟劑で、こは眞に天の下し給ふた戒めの鞭と申さねばなりませぬ。

□感謝の念

一と度文明の利器を奪はれた私共の生活は、いかに悲慘なものでありませう。更らに一と度天地が振蕩すれば、人力は如何に微弱なものでありませう。蠟燭の光りでは、とても安心して讀書し、文字を書いて居る事は出來ません。薪炭のほとぼりでは、性急な多忙な人達の食膳の用意は、到底爲すに堪へぬと思はれます。更らに電話電信の便を缺き、新聞を手にしないでは、俄かに聾啞の世界に入つたやうなわびしい心地が致しますかうして見ると都會人の社會から蒙つて居る恩惠のいかに多きを思はせます。殊に多少の霖雨や、早魃があつても、大體からは五風十雨の平穩な天候の下にある私共は、春は花、秋は紅葉と四季の美觀さへも乏しからぬ自然の恩惠の中に生息して居ることを、どうして感謝せずに居られませう。一と度天地の暴威に遇ふて、平和を破られて見れば、今更らに其の歡樂の人力では購ひ得られぬものを多く味つて居るのに氣付き、平和の日の感謝がいかにも足らなかつたと悔いずには居られませぬ。私共はこの量るべからざる天と人との恩惠に馴れぬやう、日毎、夜毎感謝の念を新らたにして、其の恩惠の無意義の浪費を戒めたいものであります。

* * *

慘害の跡は刻々と回復せられて行きます、天の威力は早くも忘られやうとして居るかの如く、うらゝかな小春日がきのふもけふも續いて居ます。嵐の齎らした暗示の薄らがぬ間に、深くも味ひたいものであります。

（三四子）

時事週評

□列車ボーイの心附廢止

鐵道院中部管理局長長尾半平氏は今回中部の列車ボーイに心附廢止を斷行しました。氣の弱い婦人客などに一人旅をして、ボーイを賴る餘りに過當な心附を遣つたり、見榮を張る客が車中に巾を利かさうとボーイに掴ませたりして、次第にボーイの客扱ひに不公平を生じ、汽車旅行の不快の種子を作つて居つたのみならず、まだ若いボーイに幇間根性を培養させて居りましたが、當局は多年の宿弊の容易に改め難きを思つてけふに及んで居りました。然るに長尾氏の勇氣ある處置によつて、一擧にして其の弊の破られた事は、極めて愉快な事であつて、我が國も亞米利加の如く理想を躊躇なく實行する美風を見るに至るであらうと、誠に賴もしく思はれます。

□暴風雨後の疫病

暴風雨の後には疫病が兎角流行し勝であると申します。日光に夜具、蒲團、衣類、器物等をよく乾すこと、生水を飲まぬこと、腐敗に近い果物や魚類其の他の食物を注意して口にせぬこと等、各自衛生に心を用ひて、この上流行病の慘害を蒙らないやうにしたいものです。

二

御見舞

稀れなる暴風雨は、獨り東都のみではなく、東北、北海道一帶にかけて、劇しかつたやうに覺えます讀者の皆樣方には御被害も定めて多かつたらうと、御心配申し上げます。紙上を以て御見舞を申し上げ、皆樣の健康を只管に祈ります。

婦人週報社
編輯局同人

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

國としての女

教育の徹底を望む

文學博士　芳賀矢一

□不自由は大なる自由

私は嘗て獨逸に留學した節、歸途英國に二三週間逗留する事は出來たが、米國には遂に渡航せずして歸朝して終つた。今回は布哇を經て先づ米國に渡り、四ヶ月間滯在して、其の初めての印象を恣にする事が出來た。米國は兼ねて自由國と聞いて居たが、私は上陸するや否や、先づ大なる不自由にぶつつかつた。それは米國が禁酒を斷行して居るので、何處でも酒杯を手にする事が出來なかつた。(記者云ふ博士は有名な酒豪)然しこの個人の不自由を忍ぶ事が、民衆の大なる自由を贏ち得た所以であり、國家を偉大ならしめた原因であると感じた。また上陸早々鐵道從業者のストライキ、料理屋の女中のストライキ等、頻々としてストライキを耳にして、米國はいかにストライキの多き國かを思はしめたが、それもやがて正義の勝利に歸し、その弊に埋められて終つた。

□米國第一の印象

米國第一の印象は、理想を着々として實際に行ふ國と云ふにあつた。彼の國民が父國を去つて、新らしい氣分で、新らしい土地を啓くに當つては先づ各自の自由を捨てゝ、民衆の自由を計る事を務めた。それ故何事も人の爲めといふ立場から、人の言論、理想を重んずるので、畢竟我が儘を征服しなければならないのである。維新の初め福澤翁が自由を飜譯する時に我が儘と區別する爲めに、隨分苦心せられたと云ふ事であるが、米國民は、よく自由を了解して、故郷よりは清朗な天地に、美しい國を建て、快活なる元氣を以て、生活して居る。兼ねて米國民は浮華であると聞いたが、それは間違ひであるのを知つた。一方に、文學史上で、米國の文學は理想が勝つて居るものが多いといふ事を學んだが、始めて理由ありと點頭かれた。

□女子の學問

學校は、小學校も、中學、大學なども殆どが、何れも女子の學生が多いのに驚いた。小學校は男女共學で、教員、校長は悉く女子である。カリホルニヤ大學は二千人の學生中五百人は女子である。かうなつては女子の大學生が少しもめづらしいことはなく、日本の如く僅かに帝大の聽講生となつた位で、新聞に書きたてられるのは、男女の知識の懸隔を語る一種の侮辱さ見えるのである。シカゴでも大學に多くの女生徒を見たが、單に學校教育のみならず、圖書館にも女子が大多數を占めて居る。我が國でも私共が大學卒業の頃—今から廿五六年前は、全國に高等女學校が二三を數へるのみであつたが、今日は實に夥しい數に上つて、各府縣に二つや三つ高等女學校の無い處は無いといふ有樣を見れば、日本の進歩も著しい。然し亞米利加に比すれば、到底同日の論ではなく、彼の國の一體の女子は重んぜられ、社會各方面の事業、政治上にも活動して居る。昨冬十二月、大統領の改選期に當つての如きは、貴婦人が兩黨に分れて、大旅行を企て、後援演說をなして歩いて居つた。其の他婦人の政治運動の爲め、辻演說するなどは、決して珍らしくはないかやうなめざましい事が多い中にも亞米利加だから出來ることも尠くない。國體、歷史を異にする我が國が、直ちに之れを模倣する事は出來ないが、上下を通じて教育の旺んな事に、大聲叱呼して、我が國民の間に其の發奮を促したい所である。就中日本が女子に未だ高等教育を授く

三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る事の出來ないのは殘念である。七千萬人の半數は女子であるにも拘らず、これ等の大多數は、いかに望んでも其の知識慾を滿たす事が出來ない狀態である。さればと云つて私は男女共學には反對であり、且つ東京帝國大學の一つ位は、全然男子專有の大學にして貰ひたいと思ふ。然し女子の爲めに、高等の教育機關が、續々設けられんことを希望して止まぬ一人である。

□擧國一致の英國

一月六日亞米利加を去つて英國に向つた。明るい米國から見れば、眞に暗らい處である。然し男子を戰線に送つた同國は、女子が實に健氣な働らき振りを見せて居て、擧國一致の實を遺憾なく現はして居た。擧國一致とは、男女が心を協せて初めて云はれる言葉であつて、男計りならば、半國一致な譯である。當時私の眼病の由が日本に傳はつて、文部省から早々歸朝するやうにとの電報を受け、充分に視察を遂げる間もなく、英國政府の好意で特別に仕立てられた汽船に乘つて、スコットランド、諾威に入り、革命後のロシヤを一ケ月計り視察して、滿洲から、朝鮮を經て日本に歸り、始めて安心した。露西亞には、英米程よい感じがもてなかつた。

□徹底した教育

今回の十ケ月の旅行に於て、熟々感じたことは、教育の徹底した國は榮え、然らざる國は衰微するといふ事である。露西亞の革命は、教育を忽がせにした爲めで、多數を占むる下流社會が無智の爲め、中央政權の運用が失はれた爲めではあるまいか。支那の革命も同樣である。之れに反して英國等は、實に教育が徹底して居るので、國運の發展は自然の勢ひであると思はれる。英米の教育は設備や程度よりも、教育の趣意が徹底して居る事で、苟も學校教育を受けた者は、教育を受けたといふ自覺を持ち、從つて效果が著しい。白覺の深いことは、殊に婦人に其の白覺の深いことは、今回の戰亂をも、勝たずんば止まぬ精神を立派に發揮して、擧國一致の實を擧げて居る所以であると思はれる。

□公益を計る大精神

米國の禁酒國を去つて、英國に渡つた私は或る夕カンエーで酒を命じた。同國では午後九時過ぎは一切酒を賣らぬ規則であるが、其の酒を用意する間に恰もチン／＼と九時を打つた。さうすると「規則でございますから」と遂に持つて來なかつた。また英政府は食糧節減を勵行し、一日に一回五オンス以上の肉を採る事は出來ないといふ規則があるが、いかなる下流の國民も、心から國家の爲めといふ念で、聊かの不平もなく其の規則を嚴守して居る。これが日本邊りであれば、政府で禁ずれば禁ずる程、隱れてもやる處であらうに、彼の國に於てはかやうな法令が、いかなる富豪の宴會にも、料理屋にも守られて居る處を見ると、自己の爲めには、いかに不利益であつても、民衆國家の爲めには、我儘を制して、公益を圖る大精神が養はれて居

四

ることを感ぜずには居られない。足一と度我が本土を踏めば、忽ちに新聞誌上には政黨の爭ひ、しかも利益の爭ひが喧しく、議會は宛然回向院の相撲を見るやうである。擧國一致が何處にあるか、口に擧國を稱へて、各々我意を逞うして居つては、どういふ終局にならうかと杞憂を抱かしむるのである。

□國としての女

これ等の弊風は、我が國教育の未だ徹底せざるを語るのではあるまいか。殊に女子教育に於て一層然るを見るのである。日本は昔決して女子を卑しめては居らなかつた。天照大神、細目尊、神后皇后の如き、政治上、社會上、傑出し給ふた御婦人を筆頭に、文學の方面に於ても、男のすべきものとされた漢文に男子が沒頭した時代に、和文は女子によつて發達し、紫式部、淸少納言等のめづらしい才媛も出て居り、氣焰は女子から大に揚つて居る。下つて武家の女は、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

決して卑しく育てられたのではなく、人の中の人たる武士の妻たり、母たる事は、さた之れに相應じた立派な教養を要したのであつた。然るに佛教、儒教により、また我が家族制度により、女を次第に「家内」の者として、抑壓を加へ、卑しめてしまつた。從つて國としての女を教養せずに、家としての女に作り上げて終ふ傾きが強い。昔の三從の教へはもとより、今日の女學校教育も、所謂賢母良妻主義に過ぎず、國の人としての教育は餘り重んぜられて居ない。之に反して歐米の婦人の現狀を見れば、何よりも先づ國家を一致して助けんとする精神があり、義務を重んずる念が厚いので、假令夫を喪ひ、子に別れ、食糧迄を制限されても、些の不平なく、國民としての自覺の下に其の心身を投げ出して働らいて居る事は感ずるに堪へた事と云はねばならぬ。今後我が國女子の智力を養ひ、體力を鍛ふ事も大切であるが、其の普通教育に於て、國民としての自覺を與へ、三千五百萬の女子は、各男子と共に國家を其の双肩に擔ふ覺悟を與ふる事が、何よりも大切と思はれる。私は決して狹隘なる軍國主義を賛成するものではない。さればと云つてなほ民族の競爭の強い今日は、國民としての自覺を深からしむる事が教育の根本であると思はれる。（婦人問題研究會席上にての講演「外遊雜觀」中より）

私の一日

野上彌生女史

▲小石川は指ケ谷町、洋館建の二階の一室に、此家の奥樣を待つて丸卓の前に腰を下してゐると、直そばの小學校から子供のさゞめきが手に取る樣に聞えて來る。ふと見ると小さな足音をさせて半ば羞かむ樣な格好をして坊ちやんが上つて來た。「母さんは？」「下に……」「あんた何ていふ名？」「僕れ、モッキつていふの」「ぢやおいくつ？」「五ッ」こんな話をしてゐるうちに母樣が下から上つてゐらした。圓い肥り肉の色の眞白い、ほんとに柔和な母樣であつた。「下へ行つてゐらつしやいね」と優しくすかす樣にして、私の小さなお友達はさう〳〵階下へ退却されてしまつた

▲母樣といふ方は七分三分に分けたきれいなお髮を無雜作に下へ束ねてあるのも自然であつた。あの坊ちやんと此の御母樣と、私の心は嘗て讀んだ「小さな二人のバガボンド」を想起さずには居なかつた。女流作家の中でも一頭地を拔いてる野上彌生女史は、私の心に幾度想像された方か分らない、「何かお書きになつて

ゐらつしやいますか」私は無遠慮に問ふた。女史はびつくりした樣に瞳をあけてにつこりと笑を湛へられた。「私は至つてのろいので、もうお正月の物を書いて居ります。エ、お芝居ですの……私にお頼みになる方は三年も前に云つて下さらないと間に合はないのですよ。私はほんとに出不精で、目と鼻のお友達でも二年も三年もお目に掛らない事がございます。ぢつと家に居て何か讀んで居ります。朝は硬いもの、午後は軟いものと云つた樣にね。時には三度もかへて讀みますの。書くよりも讀む方がらくですものね」

▲暫くして『何か御勉強してゐらつしやいますか』の今度は逆に私へ問はれた私はハッとした何も勉強して居ないのだもの……私はやるせない淋しさと恥しさを覺えた。『二人もお子樣がゐらしつては、お書きになるのも大變でございませう』『イ、エそんなたいした譯のものぢやないのです』女史は斯う云つて無雜作に笑つて打ち消してしまはれたさはいへ多く採り入れて細かく味ふ人。一つの作にもどんなに心血を注がれるのであらうか。私はある力強い襲撃を加へられた樣な氣持に成つて、お別れをした

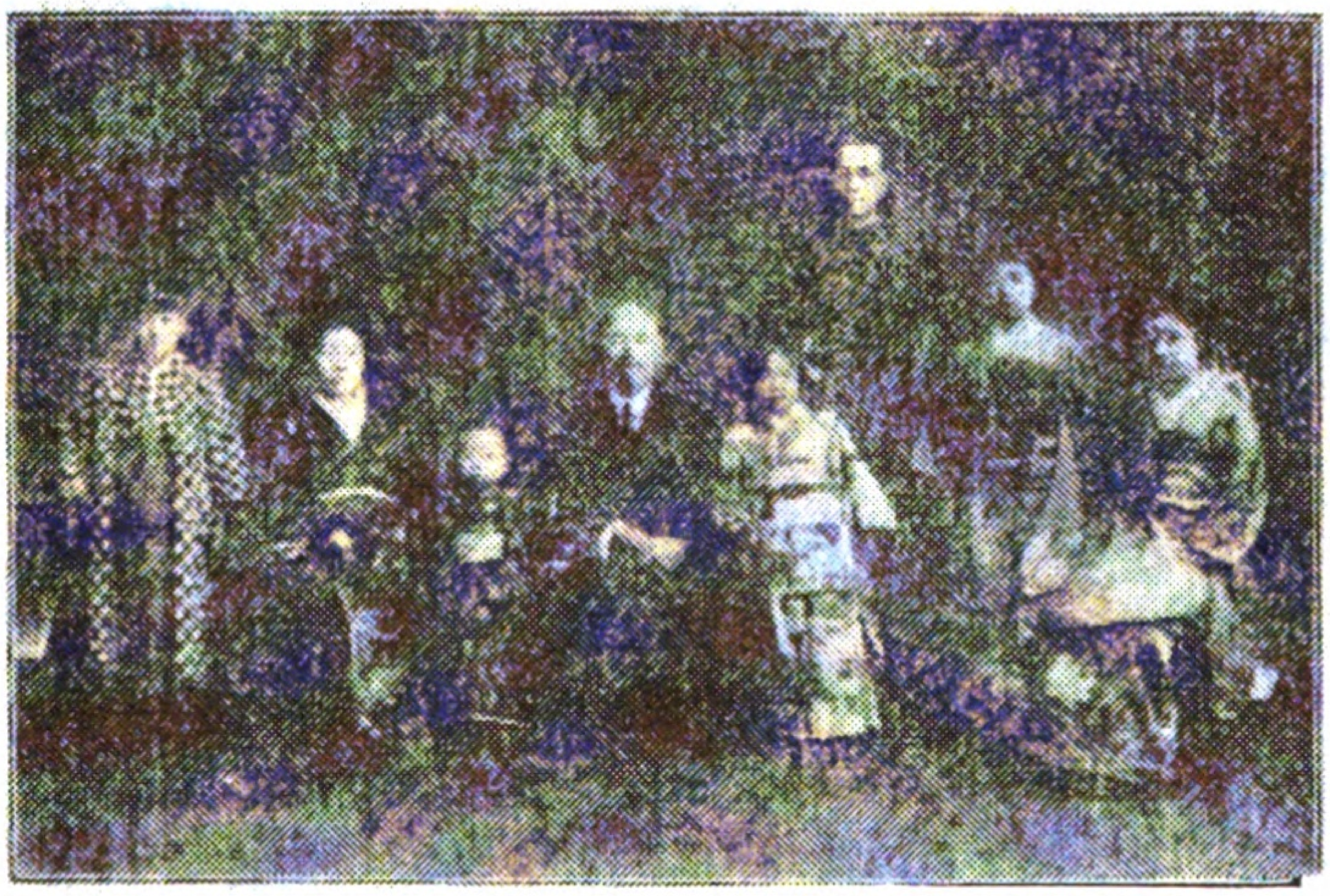
五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

高島平三郎氏とその夫人

▲「婦人界開拓者の家庭訪問ですつて？そのお鉢が私の許へも廻つて來たのですかアハヽヽ」とまづ人をそらさぬことをおつしやる。今日接客日の氏の應接室には猶一人の客人が殘つてゐられた。小雨そぼふるお庭には芭蕉の廣葉が青々としてゐた。書架の上には燒きものの桃太郎人形が可愛らしくも威張つてゐた。お机の上或は違ひ棚に並べてある色々のものが一品でも兒童に關係のないものはないやうに思ひなしか拜見せられた。氏は名高い兒童研究者で入らつしやる。兒童研究者中の權威者であるとは、今私が申すまでもないことだ。

▲「ねえ君小兒つて面白いものだよ、うちの末の男の子だがね、雀と人間とは同じだつて言ふのさ、何故つて質問したら、御飯を喰べるからつて言つたよ。けれど雀には羽があつて、人間にはないから矢張違つてゐるつて、ね何うだね、人間と比較して共通點を見出す處が面白いぢやあないかね」相手の客人は言つた。「坊ちやんは慥か五つでしたね、ちと考へることが早や過ぎやあしませんか」「フウン他のに比べると早熟のやうだ、年寄つてからの子はどうもかうした傾向があるらしいね」そこへ跡見高女へ通學中の二女のすみれさまがお茶を運んで來られた。房々しい黑髮、輝いた眼、行丈の短い紺がすりの召物の姿が如何にも初々しい。氏は見送つて「あれの今が一番面白い時ですよ、少女から處女への移り時でしてね、それですのに自身では女であるなどとは意識してゐないのですからね」



右より長女百合子次女菫子長男文雄
三女若菜子高島氏三男忠雄夫人壽子次男武男の諸氏

▲また新らしいお客様が見えた。私は奥様にお目にかゝる爲に更にお二階の客間へと通つた。よく拭きこんである梯子段は素木のまゝに磨かれて光つてゐた。お床には梅もどきと大輪の白菊とが投入風に挿されてあつた。草花の愛好者としても名高い御主人を持つ夫人のおたしなみは淺からず見えた。「六人もの子どもを持つてをりますと、明けても呉れても子供達の世話で過してしまつてゐるやうなものでムいますよ。イヽエ何ういたしまして何も出來も致しもなりません」と、何處までも謙遜しながら晴れやかな笑ひ方をなさる。「宅では男の子女の兒の區別をしてやかましいことは申しませんから、みんな各自が自由なことをして遊んでをります。ハア主人の用事が餘り忙がしさうですから、交際上の事など女で濟む場合は隨分代理をつとめさせられます。何ういたしまして、夜分丈なりと自分の時間にと思ひますが、思ふばかりで、折角主人が撰擇して呉れた書籍や、自身讀んで見たいと思ふ本も充分には讀み切れませんのですよ」と堆高く積まれてある新古の御本を見ながら仰しつた。婦人問題や其の他の學術講話會などに、よく令嬢百合子さまをお連れになつた夫人のお姿をお見受けするものを。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いろ〳〵の社會（二十二）

女占者の内幕

都會人の迷信に捨てる金は幾何

▲當るも八卦當らぬも何とやら、人間が暗に踏み迷ふた時石塊のころがる方向にすら心動くは道理である。病苦の悩み、商賣の損失、さては株屋の慾張りまで、神樣佛樣のお神籤、占者のものものしい筮竹の動きに迄心をのゝかして念じ入る。こんな心の悩みからではなかつた。私の足はほんの氣まぐれから、とめども無くある方面へと走つた。それは、粋なつぶしや、挑割の往來する水天宮附近、玄明堂芝山ひで子といふ女占者の格子戸へと手が掛つた。

▲薄暗い二階の狹い所小机の前へと坐らせられた。向き合つて坐したのは即ちひで子其人である。四十格好の輪廓の正しい目の奇麗な昔偲ばるゝ女であつた。彼女は私の生年月日を問ふた。次に傍の時計を見て私の來た時間と月日とを記した。其日が一日違つてゐるのにも彼女は心附かぬらしかつた。本を繰り小さな箱の中の四角い木をあつちこつち繰り出して見てゐた。其うちに、「あなたは現在餘程心の落附を失つてますね」と口をきる。「さうですか」私はぢつと彼女の顔を見つめて答へた。誰しもこんな所へ來るものは、さうした慌しい心に馳られて來るのは定つてゐる。「どう動いてますね」「あなたの職業が替るか住所が替るか、一人者なら結婚するかです」「ぢや縁談はいつです」「來年ですね、何でも遠方です」「大方外國でせう」

▲私は自分ながら突飛なからかひを云つたのにあきれたが、「エ、さうでせうよほど遠方が出て居ます」と、尤もらしく云ふ。「職業はどんな方面へ替へたら宜しいのです」「何でも現金商賣ですね、それも金氣に縁のある兩替とか金貸、又は金物屋の類ですね」と、彼女はまじめで云ふ。私は少しで失笑したくなつてきたので、そろ〳〵彼女の方へ矢を向けると、彼女はとめどもなく次の樣に語出した。

▲「十七八頃から始めましたが、人様が狸や狐を使ふなんて申しましたので少しの間止めてました……ハイ主人は遠方へ行つてます。十七を頭に三人の子持です。此邊では藝者や株屋さんが華客です。株の玉も大抵私が預つてますので責任があります。一石二石はまだよいとして、千二千となると、少し油断しても大變ですからね。藝者衆は主に金の事で見えます。どんな若い妓でも、三人や四人の旦那の無いのはありません。それで月百や二百稼いでも追つつきませんて。二度三度同じ着物を着ておつ座敷へ出ても客は氣がつきませんが、朋輩が五月蠅いさうです。それにお酒の斑點で着物も堪らないつて皆がこぼしてます。夜中に起される事もありますよ、それは大抵家出なんかの時です 困るのは姑と嫁のいさひで、兩方で見て貰ひに來る時ですね。そんな時は仕方がないから嘘を云ひます。月に一度は出稽古に參ります。習ひに來る方は多く男です。お慰の人もあり、株應用の人もありますが、ほんとにするには三年四年かゝりますので、途中でいやになる人が多いのです。それで私は一ヶ月速成といふ事を始めました」。

▲こんな話を聴きながら、私は上を見廻した。形許りの日蓮宗の掛物と線香とがある。壁には身の上一件五十錢、相場目先一圓期米部會員一ヶ月十五圓、株式部會員一ヶ月三十圓と麗々しく貼附されてあつた。私も此の規定によつて身上の代價を拂はせられて通りへ出た莫迦〳〵しい溝へ捨てる樣な金である。迷信疑惑の怖しさ、呪はしい彼等が、只取りの金を儲けてゆくのが、何時迄つゞくのであらう。（佳子）

七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新歸朝の 上代たの子女史

戰時の米國婦人のめざましい活動振

上代たの子女史を目白の曉星寮にお訪ねした。それは米國はニューヨルクの東部ロー村にある女子大學校を卒業せられマスター、オブ、アーツの學位を得て歸られ、新らたに母校日本女子大學校に聘せられたとの報の傳つて間のない或日であつた。腰掛稻荷の秋祭の太鼓の音がドンドンと鳴り響くので、最初の内は而も久々でお使ひになる女史の日本言葉が、ともすると私の耳をすべつて了つて閉口した。

「すつかり米國子になつてしまつた様で、日本へ來ても嬉しいは嬉しいのですが、まだ變な氣が致しますよ」と思ひ深氣な眼をじつとすえて仰つしやつた。白の上衣淺緑のスカート、黒い髪の毛、窓の外の梧桐の裏葉は雨にぬれてゐた。私は油繪でも見るやうな心持で女史と相對してゐた。お話は時局――歐洲戰爭の事に移つた。

留學中の上代たの子女史

「あちらの婦人――一般の婦人がですよ、戰爭について活動してゐる様子を觀て來た私はこちらでの婦人方が恰も向ふ岸の火事でも見てゐるやうな態度、寧ろ無神經でゐられるのにあきれてしまひました。然しねえ、私はまだ、眞の様子は分りませんからあまり立ち入つたことを言ふのは止めませう。兎に角米國婦人は一體常からが、一國一郷の事よりは、世界人類とやうに心持の置き處が違つてゐますの、ですから、獨逸に對しても單に交戰國に對する敵愾心でなくて、人道の暴虐者として見て怒つてゐるのだと思ひますよ。」

「活動ぶりですか、心持が既にそこから出發してゐるのですから、實行することも實に一般的でして、早い例が、戰地に送るものとしては靴下が一番多いでせう、御存じでせう、カナダは世界第一の編物の盛んな國でして、そこの或婦人は一人で三百足を製作して寄附しました。そして、ある雜誌上では靴下の寸法を一定して記載した爲に、假りに何百里隔てた人同志が片方づゝを造つても要求に適ふと云ふやうな造り方ですから、實にもの事に徒勞といふ事の無い國です。其の他には傷病兵の爲に小さな坐蒲團を悉く廢物から造つてゐます。袴や何かの古い切れをきり刻んだもので綿代用にしたり、學生達はお茶時のケーキを節約して糸を買つてスエタ(毛糸の上衣)の袖のないものを作ります。是れは塹壕で用ふるのださうです。是からは冬期に向つて嘸かし喜ばれる品でせう。」

「また、あちらの人は隣人を愛しますことね、歐洲人は小麥粉のパンでなければ食されない

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のだからと云つて自國ではもろこしの粉で製したものを喰べなれてメリケン粉は他國人の爲に蓄へてゐますの、それから寸尺の空地へも馬鈴薯を作つてゐます。是れも戰地の食量品とする爲にです。かうしてゐる人達の日常生活は矢張靜かに穩かに常の通りに家庭は保たれてゐますの、」「何故でせうつて？それはね、日本の赤十字社員が會費を納めること、年一回の總會に出席することを義務としてゐるのとは少し違ひますやうですわ、」と仕方なさゝうに笑つた女史のお顏に憂はし氣な影が見えて、稻荷堂の太鼓はしきりなしに鳴つてゐた。七分三分に分けたお髮が面長の額にほつれて折柄の風情を添えた。女史の膝には過ぎし四年間の思ひ出を語る數々の寫眞が一帖のアルバムに納められて載つてゐた。私は強いて其の內の一枚、無雜作な學生服をつけた、今圖書館へと歩いていらつしやる女史のお寫眞を拜借して、歸つた。「またいらつしやいませ、御用ぬきのお友達としてのお話を致しませうね、さよなら」、玄關先きに女史の姿が幻のやうに美しく見えた。白の上着、淺みどりのスカート。それは曇つた日の午後であつた。

暴風雨のあと　東京だより

T子

▲夜が明けると殆ど同時に、さしもに吹き荒れた風も何れへか去つて、曉の空にははやまばゆい日光がかゞやいてゐました。傳へらるゝ慘害の情報は殆ど信を置き難い程のものでした。途上街路樹の根こぎに倒されてゐるもの、扨は板塀の倒れた處、屋根のめくれた家、殆ど全區全市を通じてあはれに見られることのみでした。

▲不忍池畔の化學工業博の外郭の建物は、殆ど倒潰して白堊のはげた材木がまだ取りかたづけもされずに散らばつて守衞は果敢なげに「臨時休館」の立札の前に立つてゐました。しかもあの上野東照宮の山腹に偉觀を放つてゐた高欄作りの精養軒が無慘にも倒壞して、當時の慘狀を目前に通行の人をして驚かせてゐます。山內の大木古木が或は裂け、折れた枝が他の枝につり下つてゐたり、木の葉はあのすみこのすみに堆高く吹きよせられてゐます。

▲本所深川方面に近よれば、家を失つたものらしい寢衣姿の內儀さんが、泣きわめく赤兒を背負ひ、施されたお握りでもありませうか、大事さうに竹の皮包みを持つて居るのもあれば、殆ど喪神して酒醉ひか狂者かと思はせるやうな凄まじい形相した青い顏の男女が、よろめき步いて居るなどにも澤山出會ひました。兩隣の家は毅然として立つて居るのにも拘らず、どうしたはづみか中の家が丸潰れになつて、中から壓死者の死屍を掘り出して居るのなど、目もあてられぬ痛ましさです。更らに築地、月島、品川の方面は海嘯に襲はれたとの事、その慘狀も想像されます。かういふざわめきの中に、兵士の列をなして救助や炊き出しを急ぎに行くさまを見れば、俄かに戰地にでも參つたやうな心地になります。

▲今宵十六夜の月は皓々と全市を照らして隈らないばかりです。學校に寺院に數百千の人々は秋の夜寒を僅に避難して、餘儀なく人の救助を仰いでゐるのです。

——十月一日夜

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

山登りの好期
家族連れによい處

斬雲

□秋と山と

山登りは、高い處から廣く展望を恣にする處に第一の興味があります。登る途中山中の風致を樂むのは第二位です。展望には秋の淸明な氣候が一番適當です。東京人は富士登山以外山登りを認めない樣ですが幾萬の富士登山者中、山上から展望を恣まにし得る人は幾人もないでせう、雲と風と雷鳴、電光を見て來る人が多い樣です。そして富士登りは一種流行となり、登つたといふ事夫れ丈けの意味に止る樣です。こんな事は血氣にはやる靑年向きであつて、婦人には適しません。私は婦人若くは家族的山登りの場所を考へて見ました。

□妙義は小細工

婦人や家族的登山では、一泊が大儀です。成らば日歸り登山が望ましいのです。武藏野の一端に在る東京には、近間に山がなくて詰りません。而し汽車の便を借りれば一日登山も出來ます、一番容易で、一番簡單で風致も美いのは妙義山登りです。之は朝早く上野を出發すると、登山を終へて其日歸りは樂です。併し妙義山は、山登りといふ程の山ではなし、汽車の沿道にある丘陵位の處で、深山幽谷の趣が乏しく、山靈に魅せられる樣な神秘な感じが得られません。石門だの、大砲岩だのといふ小細工が却てうるさくて、自然らしい景色ではないのです。そこで私は、東京附近の山の趣味として箱根の舊道登りをお勸めします。

□箱根の舊道登り

箱根の舊道は、廣重の五十三次其儘の佳致に富んだ景色です。汽車は小田原電車と連絡して湯本迄三時間で達します、朝六時半の汽車で東京を發つと、九時半に湯本に着きます。それから直ぐ舊道へ入つて行くと、須雲川村邊から、幽靜閑寂な風景、神秘の森に魅せられて了ふのです。箱根の山は裾に褶が深いから、高さは幾らもないが、山へ入ると直ちに深山幽谷の趣があるのです。そして大きな圓石で段々が出來て居る道路が、古色蒼然、古への道中の事など思ひ起されて、廢墟を弔ふ樣な感じも加るのです。進路もひた登りに登るのではなく、登つては少しばかり下り、溪流を渉り、又登り、又少し下り、又溪流を渉るので、之が大いに情趣を添へます。二時間も登ると、樫の木峠へ出ます。峠には以前茶店があつて、此處から後を見下ろした景色は正さに廣重の繪です。それから二子山の下を通り遂に芦の湖に出で、富嶽の倒影を眺めながら些と遲い晝飯をします。

□歸途は宮の下へ

歸途は芦の湯から、湯の花澤の高原を過ぎ、小涌谷を見て、宮の下・底倉、堂が島を經て塔の澤へ下り、湯本へ歸るのです。之は下り路だから、樂に夕方迄に湯本に着けます。夫れから晩の汽車で東京へ歸る順序です。今月は紅葉の時期で、且つ空氣澄明展望も屆き、山が瘦せて一入の風情があるのです。婦人や家族的山歩きには好適です。服裝は普通で好いが淺い溪流を渉るから惡い足袋に草履が好いでせう。慾を言へば湖畔から離宮の方へ出で、山道を十國峠へテーブル形の高原を低下し、其晩は熱海へ下つて一泊したら申分ない山歩きです。十國峠へ行く山路は、最も展望を恣まにし得べき高原で、緩い傾斜を下るから、大變氣樂な道中です。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小崎家の新築拜見

新工夫の臺所

時雨の空からは鼠色の雲を低くたれてゐる日であつた。赤坂靈南坂教會の新築の高塔は地上十七間餘も中空に突き立つて、折柄の鼠色の空と朱泥色の尖角こを相磨してゐるやうであつた。牧師小崎氏の住宅の牧師館は直ぐ隣接して同じく新築された。辰野工學博士の設計になつた會堂及び氏の住宅が外觀内容ともに完備してゐることは今更喋々するまでもない。私は今日特にお臺所を拜見しようと思つた。然しお臺所へ案内されるまでには、まづ玄關から應接間、居間、客間、或は人形の飾つてある小令孃の部屋、女中さんの部屋までも通りもし覗かせても戴いた。

▲往來から並行して見れば二階建の樣で、三階建になつてゐる總數十七坪强の建坪南北の長方形になつてゐる。勿論教會堂の莊麗の建築に比しては用材等も極く在りふれたものを用ひられて、專ら質實をむねとしたものであつた。

□**明るい家**

まづ全體を評して明るいお家と言はう。部屋と云ふ部屋大方は窓に硝子戸を用ひてある。更に欄間も部屋つゞきは他のものを用ひてあつても外廓に向ふ處へは必ず硝子を嵌めて明りとりとしてある。そうして小崎夫人と令孃の岩村夫人との笑聲が絶えず音樂のやうに響いてゐるので、このお家には秋や冬は無いかとも思はれる。春のやうな空氣はお臺所の隅に迄張つてゐた。

私は目的のお臺所にと這入つた。お晝の後かたづけを爲終へた女中さんは白のエプロンを掛けたまゝ、私の城廓で厶いますといつた風の表情をしながらそれでも遠慮勝ちにそこらに手を觸れたり、のぞいたりしてゐる私を見てゐる。

□**たつた一坪半**

が板敷となつて、その三分の一丈が揚板になつて食糧品貯藏所となつてゐる。コンクリートで固めて鼠を防せいでゐる。一寸開けるとそこには糠味噌桶の蓋が綺麗になつてゐた。外面の方は三尺高さの窓が端から端に開けられて、窓下には二尺五寸位に亞鉛張りの棚がしつらへられて、棚の下は、開き戸と、ひけんどん、と相違ひに出來て、日々の用品が區別されて納められてある。水道口は最も右端にあつて仕事に便利してゐる。瓦斯は左の方で、中間に爼板を置く位の餘地と、洗ひたての物を置く傾斜した水切り所とがある。

□**この新宅の特徴**

私はすつかり見終つてきて當家のお臺所の特徴を四つ五つ御紹介致すことゝする。鍋類、コーヒ茶碗の如き手のあるものは必ず丸螺旋鋲に釣してあること。棚には、必ず板戸か硝子戸か網戸がある。米櫃は大きい引出しで底に亞鉛を張り車をつけてぬきさしが輕々しい。三尺の押入は中を仕切つて淺く兩方の部屋から使つてゐる。浴室の天井が亞鉛張で内に傾斜して水蒸氣を外に出るやうにしてあるのが新らしい試みでよいと思つた。化粧室の隅には押入がある　あけて見るとこれは洋服掛であつた。四五人の少人數ではあつたけれどかつては臺所に働いた經驗を持つ私は最後に臺所は凡て立ち働きをするやうに作るに限ると思つた。小崎氏の臺所は恐くさうで、理想的だと思つた。ふと食堂の方へ足が向いた。大きな平テーブルの上のガラス壜には紅黄白の大輪のバラが美しい色とよい香とを騒つてゐた。（一記者）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

古物をミシン刺繍で生かす法

シンガー裁縫院　矢野元子

□古羽織をコートに

ミシン應用の廢物利用は却々に數多うございます。そして結果が皆立派で廢物の名を冠せるのが可哀さうな位です。先日もある方からお頼まれしたのは、お母様の古羽織をお嬢様のコートに直すのでした。先づそれを程よい向に染め、所々に源氏香と葵の模様をミシン刺繍で飛ばせました。衿先を袖へはぎました。綴ぎますのにもミシンで致しますと、手際よくきれいにあがります。衿をたて衿に、襠を小衿にして恥かしからぬコートが一枚出來上りました。それで全部の糸代が二十四錢、縫ひ賃が一圓、刺繍代が一圓、勿論これは實費で當院だけの値ではありますが、ほんとにおやすいことでした。

□古帯地の意匠

襦子の帯など古く禿げかゝつたものなど、色揚をしますと見違へる様になります。又その上にミシン刺繍をいたしますると立派な品が出來上ります。刺繍にもよりますが、五六十錢も糸をかけますれば片側かなりの刺繍がほどこされます。手間賃は五十錢から一圓位です。其他切れた所は切り取つて、切嵌又はアプリケーと云つて美しい布を花形などにして上へ置き、周圍を刺繍の様にかゞります。角の薄切れは斜めに切り取つて、違つた布をつけますと妙です。

□地味な物を華やかに

お姉様お母様の戴き物で餘りじみな召物などは、五分おきなり七分おきなりに、ミシンで縞を縫ひ入れますとまるで織り込んだ様に光つて、ほんとに美しうございます。お若い方でしたら黒地に赤絲など愛らしく見えます。又無地の布を買つて自分の好きな縞を自由に縫ふ事も出來ます。これは却つて布が引きしまつて、衿だの袖口など強くなりますので持ちが宜しうございます。

□應用の利く半襟

一番手輕で應用の利くのは半襟です。絞染のお出來になる方は殊に面白い工夫も湧く事でせう。染代を十五錢として、絲代を三十錢から五十錢もかけますれば、半襟は生れ代つて再びお美しい襟元を飾る事が出來ます。

化粧問答

問　私は白粉を塗つても何時も直にムラが出來たり、鼻の上がはげたりするのですが、何か宜い法はないでせうか。（芝芳子）

答　白粉は何をお使ひか知りませんが、クラブ白粉のやうな上等の白粉なら斑になつたり剝げたりする心配はありません。尚、白粉を塗る前には是非クリーマを附ける必要があります、以前は堅油を顏へ塗つたものですが、臭氣がある爲め此頃では使ひません、今では皆一番よくきくアレ止日焦け止め兼用のお化粧下クラブ美身クリームをお使ひになります、クラブ美身クリームを少し掌に取つて襟から顏へかけスツカリ斑のない様に擦込み、夫からノリも延びも天下一品の稱あるクラブ白粉を叮嚀にお塗けになれば、ムラも出來ず、又お化粧の持ちも一番宜しう御座います。

問　私は眉毛が薄いので、色々な藥を使ひましたが、反つて毛が脫けて困つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

甘藷料理

川崎正子

甘藷には赤と白との二種あります。赤の上等は、武州から出る川越藷と申し、白の上等は相州の八幡藷でございます。但し料理法には違つた所はありませぬ。

□蒸藷　甘藷の皮を剝ぎ、五分位の輪切に切り、廿分間位蒸します。柔くなつた所を小鉢に入れ、葛餡又は柚子味噌をかけて出します、

葛餡の拵らへ方は煮出汁三杯、醤油一杯、砂糖半杯をかき混ぜ鍋に入れて火にかけ、煮えたちたる時鍋を下し、水溶き葛半杯を入れて掻き回し、再び火にかけて透き通るやうに火の通つた時藷の上にかけます。

柚子味噌は並味噌に砂糖をまぜ火にかけ、煮たちたる時裏漉して柚子の皮を摺り込み、煮出汁にて適宜にゆるめます。其他ごま味噌山椒味噌等も用ひます。

□藷饅頭　甘藷の皮をむき一二分位の厚さに切り水にてよく洗ひ、湯の煮たちたる所で五分間位蒸して木鉢のやうな物に取り、摺木にてよく潰し、味噌餡を中に入れて饅頭に致します。焼鍋に胡麻を少し入れ、拵らへた饅頭を弱火で一寸焦目を付けます。味噌餡の拵へ方は白味噌を裏漉し、味噌が一ぱいならば砂糖半杯入れて火にかけ、ねつて用ひます。

□藷の八ツ橋　甘藷の皮をむき一分位の厚さに切つて二三時間天日に干します。それから胡麻の油を充分煮立て藷が狐色になる迄揚げて大皿を下に受けた目笊に入れ、油のきれた所で摺蜜を刷毛でぬり、一時間程おいてから器物に盛りつけます。摺蜜の拵へ方は、水四杯に對する砂糖を六杯入れ、半分位に煮つめます。箸を入れて粘り加減を試みますと、五分位糸を引けば宜しいのです。鍋を下し手をつけられる位にさめた所で箸を入よくかき廻すと白くごろごろになります。此の中へ煎胡麻を少々入れゝば猶結構です。

□東煮　甘藷の皮をむいて三四分位の厚さに切り、両面を取ります（面取は輪切に切つた角の所を丸く削ればよいのです）鍋に藷を入れひたひたになる位に水を入れ、猶砂糖と少量の醤油を加へ蓋をせずに煮ます。藷は煮ると直に崩れ易うございますから、切口に小裂の入るを度として鍋を下し、暫くむらしておきますと、煮汁が充分に浸み込んで大層結構でございます。

子供の智慧

□月がよくない　今年八つになる不二雄ちやんは十日位のお月様を見てかういひました。『今夜のお月様はちつともよくないや』『どうして』『だつてまんまるくないもの』

□鬼が島の寶物　十才になる正ちやんが姉さんと水族舘見物に行きました。水中の珊瑚の美しい枝振を見て居ましたが大きな聲をして、『姉さん鬼ケ島の寶物があるよ』と目を圓くして申しました。

大島バタ通信販賣

東京灣三十里の東にある空氣清新、四季緑草をもて覆れたる天與の酪農地伊豆の大島に産せる純眞、風味卓逸、心地よき黄金色の最上バタを試みられよ

定價　半斤　金五十五錢　壹斤　金壹圓

東京銀座二ノ十二紀伊國橋
佐野商會
電話京橋一四四番
振替東京三四九六二番

て居ります、何か良い策はありませんでせうか、（神田　美代子）

答　如何はしい品をお使ひになると益々毛が惡くなる計りですから今度クラブ白粉本店から發賣されたクラブまゆずみのやうな純良な品を用ひ形をよくお作りになりますと、如何にもわざとらしくない自然の蛾眉を現はし、眉毛の爲めにも一番宜しうございます。

問　私は顔を剃るのが嫌ですから白粉が乘らないで困ります何か化粧法はありませうか、（麹町　幾子）

答　ムク毛のある方には煉白粉は乘り兼ねますが、何も煉白粉を使はずとも美しいお化粧はいくらも出來ます、先づクラブ美身ゼリーム（又はクラブ美身クリーム）をお化粧下としてお引きになつて其上へクラブ刷白粉をポットで押へ加減に刷付け、別の刷氣で浮いた粉を拂ひながら輕く撫で延ばし搾りタオルで眉毛、睫毛などの浮粉を取りますと、瀟洒としたお化粧が出來上ります。

十三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然兒（十九）

ジヤツクとジル（中）

琴子

さつきから一人の女の子が教會の垣根にもたれて泣いて居ました。が、デビッドの様子をみてビックリして、
「あゝ、こまるわ。こまるわ。あの人、殺される！どうしやうわたしのせいだわ、わたしの猫だもの。」と言つて、手をふつて心配して居ました。

そこへ、可愛想な猫が、子供達にほうり出されて、空鑵をガランガラン言はせながらヒョロ、ヒョロ歩いて來ました。女の子は夢中で猫をかゝへて、鑵の紐を解いてやつたり、袋をとつてやつたりしました。そして、如何にも大切さうに、毛をなでゝやつて居ました。猫もうれしさうに、ゴロゴロ、のどを鳴らして居ました。

けれども喧嘩の方が氣になつて、その方ばかり見て居ました。デビッド一人に、六人かゝつて居ました。きつとデビッドは蹈み殺されてしまふだらうと思はれましたが、デビッドの働き振りはたいしたものでした。デビッドが蹴つたり、投げたり、はたいたりする度に、六人の子供が代り代り、でんぐり返しを打つて、ころがされて居ました。でも、六人に一人は、とても、かなひません。デビッドが一番ひどい目に會つて居ました。丁度、其時、女の子が町の方から一人の脊の高い、若い男の人を連れて來ました。

その人は、すぐ、喧嘩の眞中には入つて、兩方を引き分けました。いたづらつ子達は、その人の顔を見ると、みんなどこかへ逃げて行つてしまひました。デビッドが、一人、地面に、倒されたまゝ、殘されました。

女の子は、デビッドを見てまた泣き出しました。
「ジャック兄さん。あの人！あの！人あんなにひどい顔になつてよ、いゝ親切な人なのよ。」

デビッドの様子はほんとに目もあてられません、洋服の上も下も破ぶれて、ネクタイは見えなくなりましたし、手も顔も泥と血で汚れて居ました。片方の目の上には、大きなたんこぶが出來て居て、片方の目の下の方は赤くすりむけて、血がにじんで居ました。その男の人が、手を引張つてくれたのでやつと起き上りました「あ、猫は？」と心配さうにすぐ聞きました。
「あたしが抱いてゝよ。あなた助けてくれたのよ。ほんとにありがたう。どうしてお禮をしませうね。」と女の子が言ひました。

すると、男の人が、
「ジルちやん。お前、御禮をしたいなら、この「勇士」の傷をよくして上げるがいゝよ。」
「あゝ、さうね、ジャック兄さん、家へ連れて行つて上げませうよ。そして、他の人に見られない内に、きれいにして上げませう。」

女の子がかう言つた時に、デビッドは不意にたづねました。
「お伽噺にあるほんとのジャックとジルなの？」

二人は大笑ひしました。
「さうぢやないのよ、私達のほんとの名前ぢやないのよ、でも冗談にさう言ふのよ。」
「あゝ、さうですか。ぢやきつと僕のヴァイオリンも解るよ。」

さう言ひながら、デビッドは急いで、材木の上から、ヴァイオリンを取つて來ました。男の人が
「君、僕等の家に來給へ。遠くはないよ。少し君のきずを手當しやう。」と言ひましたのでデビッドも、よろこんで二人について行きました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

黄金の露

（上）

波留子

ジャン、クロードは其年齢に合はせては中々聰明な青年でしたが、まだ燕麥の收穫を二十度とは見ないのでしたから、車の轍の凹處を見て、巧みに避ける術を會得しませんでした。

年若にも係はらず、早くも一家の主人と云ふ重い責任が彼の双肩に落かゝつたので、一生懸命働いては見ましたもの、何處かに手落が有つたものと見えて土地の至る處に荊棘や薊が主人顔して徒らにはひ擴がるばかりでした。彼は來る日も來る日も畠に出て如何したなら是等の雜草を取除いて、人並々の畠地にする事が出來やうかと足下に轉つく小石や、野方途もなく成長して行くいばらの叢を恨めしさうに見遣りながら、呆然考へ込むのでした。

或日の暮方も、衣嚢に兩手を突込んで荒れ放第にあれた土地を眺めて居りますと、何故神は斯う自分の畠ばかりには裸麥や小麥の代りに、茅草だのおほばこだの益でもないものばかりしか生長さして下さらないのであらうと、遂ひには見當違ひな不平迄つぶやかれるのでした。すると折柄何處からともなく一人の見すぼらしい老婦人が彼の面前を通り縋りに、慈悲深く在します神の聖名に依つて僅かばかりの施與物を乞ひました。

ジャン、クロードは生附き親切な心の青年でした。女乞食の痛々しい様子に哀れを催して、ズボンの衣嚢の底を掻きさぐりながら一錢を取出して手渡し、ながら、

「老母さん此金錢は貴女にとつていくらでもないものです、けれども神樣はようく御承知で居らつしやる、私は今ほんとにお金錢の事なんか考へる程氣楽でないのだから——」

「いゝえどう致しまして、貴君の御親切は決して僅かなものでは御座いません、——」

女乞食は青年の語を打消す樣に進りました。

「——若い御主人樣、貴君は施與物を願ふ者に對して、決して冷淡に面を背向けなさらなかつた、必度後來に神樣からお報いをお受けなさる——私も私の出來る丈の力でさうして上げなくてはならない」

深く依頼む處がありさうに、老婆は一人で强く頷くのでした。

「老母さん、それは何を云つてるんです——」

青年は吃驚して思はず聲をはづませました。

「——私は貴君に今大切な秘密を傳へて上げやう。すると貴君は此村中の誰よりも金持になられるであらう、」

柔和な女乞食は落着いて答へました。

ジャン、クロードは丁度飢えた猫がミルクの茶碗を見せつけられたやうに、かつと開いた兩眼を輝やかせました。

「そして其秘密と云ふのは——」

「外でもありません、貴君の畠が黄金の露の貴い賜物を受けられるやうになる事です——」

かう云ひさして氣のよさゝうな微笑を浮べるのでした。

「——毎年一度此處の畠の所有主ばかりが見附けられる黄金の露が降るのです——けれどもさういふ幸福にありつかうと思へば先づ毎朝一番に、誰よりも早く畠へ出て熱心に、根よく耕さなくてはなりません——どんな事があつても日の出る前には必らず——」

「そして黄金の露を拾ひ集めるには何か手順がありますか——」

「何にもありません、只斯う云へば澤山です、『土地よ、我が汝に與へしものを我に返せ』と——」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

犬と彼等（八）

高田てい子

買ひものに出るあとをついてきたとみが自轉車に轢かれそうになつたこと。近頃お宅の坊ちやんはいかゞですとK院の人が尋ねたこと。蕎麥屋の出前持に肢をふまれて泣いたこと。猫と喧嘩して負けたこと。菓子屋の内儀さんが運のいゝ犬だと言つたこと。犬にだつて魂も運命もあると思ふといふこと。洗つてやつたら蚤が十七疋と牛蝨が五疋ゐたことなど、他愛もなく饒舌つゞけたあとでおれいは、

「犬のことを除いて今日自分達は何を話す筈だつたろう」と思つた。

「犬がゐなかつたらもつと心に響くなにかを、でなければ靜かない〵沈默がありはしなかつたか、家庭内の興味と愉樂が、犬を中心にしてひろがつてゆくのなら、それから夫婦の會話の大部分が、犬をさしはさんで交はされつゝ毎日が暮れてゆくのなら、淋しいつまらない事だ」と、かすかな嘆息が彼女の心からもれた。

子供のない夫婦の心理の推移を小説的にゑがいて、ひとりの興味にぼんやり浸つてゐるやうな時もあつた。

「子供のない――むしろ子供などは生むべきでないと、肉體的に運命づけられた――夫婦がある。彼等は二ツの「個」を一ツに融かそうと努めるよりも、「各個」の世界を底ふかく掘りさげきり拓かふとしてゐる。そこに自由な別れ別れの生が營なまれてゆく。彼等は各自の國土をのぞき合ふ事もなければ、そんなに親しく語り合ふこともない。たゞひたすらに自己の領地を開掘することに熱中してゐる。その家庭には體と魂との無交渉な淋しい平和がある。その平和はたん〵冷く凝滯してくる。夫婦の間の情味は次第に枯渇してゆく。言ひ知れぬ寥寞がその家を見舞てくる。そして、暗默な人性の悲劇が彼等の心の奥底にくりかへされる。

二人は家庭内に明いあどけない愛のつなぎを求めるやうになる。偶々小犬を拾つて助けてやる。そしてかつて知らなかつた愛をその動物に經驗する。その愛は冷い空氣の凝滯を温かに溶かしてゆく。遂ひには生活から犬を離すのが不可能までに、動物への愛が夫婦愛にまで關りをもつやうになつてくる。」

彼女の作つた小説はかういふ荒筋に色採と裝飾を一ぱいつけたものであつた。彼女はその小説にかなりな滿足を感じた。それは彼女の貧乏な頭が、まとまりもなく生み出すいくつかの駄作の中の傑作であると思つたから。

十六

でもある日清伍が

「もう犬のない生活は淋しくて堪へられないだろうな」

と言ふのをきくと、おれいは落膽してひそかに反抗してゐた。小説が現實的に完成するのなら、それこそたまらないと思つた。犬からの助けを借らなければをられないやうな生活の寂しさは、ゑがいて見る丈けでたくさんであつた。

然し犬が彼等の日常にもたらした變化は見のがせない事實であつた。やはり無意識のうちに二人は、二人以外のなにかを求めてゐたのではなかつたろうかとおれいはたび〵思つた。そして子供といふ問題にはつきりと、心を傾てみる日も少くなかつた。尤も子供は彼女のほんとうの要求の中に含まれてはゐないのだつた、自分ひとりの扱

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

にさへ彼女の苦しみと悩みは、劇げしかつたから。ことに冷静な批判の目で自分の全體をながめ見る時、彼女は親になりえそうもないその運命を、どんなによろこばなければならなかつたろう。畸形な神經と、放恣な貪婪な苦しい性格とをつゝむ肉の一片も、血の一滴ものこさないですむことは、種族の爲にほんとに祝すべきであると思はれるのであつた。それでも家庭生活の燒點を求めていくとき、彼女は、そのさびしい、運命に對して反抗的慾望——これはお前にはやれないと親から言はれたときに、かへつて執拗にすねて出たがる子供の態度に似た——を感じた。その感じは一直でないたくさんの分岐線をもつてゐた。それら線の一ッ一ッを辿つていくとき、おれいは自分の爲めにいくつかの試問をつくり、そして自分のために幾條かの答案をかゝねばならなかつた。その答案はやはり自分のみの理解と肯定にすぎないものであるけれど、そこに彼女は隠くれたひとりの慰めと、ひとりの苦しみと、ひとりの悲しみとを味はふのであつた。

讀者から

縁結びの木

在バークレー　川島政子

この夏は子供等に留守を頼み、ローサンゼルスに行つて參りました。これはマウントローと申す處のインスピレーションポイント參る道にある「白樫」で、縁結びの木とか申して、數知れぬ名刺が住所まで、刷りし儘にて結んでございますのを、この土地で、かうしたものを見るのをおかしく思つて寫し、お送りいたします。

弊店の特色

御召　織式　縞染

△古手物モ新規同様ニ相成候

△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候

△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ズベク候

中澁谷六百十八番地

（玉川電車通西郷邸前）

百足屋染物店

平田孫太郎

秋季大賣出し

十月一日より

流行品陳列會

七五三祝着陳列

寄切見切反物大賣出し

十月一日より

東京　日本橋

白木屋呉服店

歯科診察

府下千駄ケ谷町五百六十三番地

歯科醫學士　大久保透

十七

時事

◉騎兵學校へ行幸　天皇陛下にには去る廿七日、雨天にも係はらせられず、同校の終業式に臨ませられ、學生及び教官の馬術等を御覽あらせられました。

◉伏見宮恭子女王御歸嫁　博恭王第一王女にあらせられ御年廿歳にならせらる、同女王には、兼ねて淺野侯爵長勳氏令孫長武氏との御婚儀の勅許を賜はり、十月一日お結納の式をお取り行はせになりました。御入輿は來春二月の頃の由に承はります。

◉戰報　△亞國議會斷交決議　亞爾然丁議會は獨乙と國交斷絕の決議をしました。△獨潛航艇撃沈　西班牙沖にて日本驅逐艦は獨乙潛航艇を撃沈致しました　△暹羅歐洲出兵說　或る處への情報は同國が歐洲へ出兵する由が傳へられました。△グイネル大尉戰死の報　佛國軍中の飛行家軍人として獨乙軍の最も怖れてゐた同大尉の戰死の報が傳はつて來ました。未だ二十三才の少壯士官の戰死は獨り佛國のみでなく世界の損失として惜まれるものであります。

◉露政府移轉說　勞兵會と絕緣した爲に、露政府は或は莫斯科に移轉するやに傳へられてゐます。

◉米國罷業擴大　米國太平洋岸各地造船業勞働者の同盟罷工は其の後益々擴大して、就業を勸むる大統領の言をさへも用ひぬ程の有樣との事であります。

◉天津の大洪水　天津は大洪水にて殆ど全市全滅の有樣で、死傷者の數も數へ切れぬとの事であります。日本租界もたゞ一部丈が被害をまぬがれた丈です。自然の排水をまつならば一ヶ年を要し、大仕掛けの排水法をしても一ヶ月はかゝるとの事であります。支那政府も國庫を開いて罹災民の救助をしつゝあります。林公使は三千の居留同胞の爲に義捐金の募集に盡力せられつゝあります。

◉大暴風慘害　去る三十日夜半より一日拂曉へかけての大颶風に就て、中央氣象臺長岡田博士は「明治十年以來かつて例のない程猛烈なもので、颱風の中心は紀州沖の南方三十里邊にあつたものが、進路を北東に取つて進み來つたもので、十月一日曉三時半頃には既に東京市を通過して武州大宮所澤附近を突破して、東北の方に去つてしまつた。東京市が蒙つた慘害を見ると、隨分險惡なものではあつたけれど、猶吾々の觀測では、暴風と暴雨とが同時に襲來しなかつたといふことは、どれ丈の被害を防いだか知れない」と長嘆して語られました。東京市に於ては深川が慘害最も甚だしく、水中に夜明しする人五萬人、本所は一萬五千人の被害民あり、京橋月島は本土との連絡を斷たゝれて飲用水にさへ事をかくの慘狀眼もあてられません、溺死者重輕傷者、行衞不明者算を亂して詳にしない程であります。府と市にては軍隊の出動を請ふて是と共力して目前に迫つてゐる被害民の困苦を救濟する方法を講じてをります。畏くも　天皇陛下には今回の慘害を御軫念あらせられ、二日日根野侍從を御差遣の上、實狀を視察せしめられました。

◉國券發表　豫記の如く政府は十月一日を以て臨時國庫證券額面五千萬圓を發行の事に決定しました、是は日本銀行引受の下に一般に賣出され普通の大藏省券と同じものであります。尙ほ一般に諸種の預金が激增して、開戰當時の三倍額にのぼり金融界の新記錄をなしてゐるとの事であります。

◉朝鮮金銀禁輸　長谷川朝鮮總督は、去る十四日附總督府令を以て、朝鮮の金銀貨幣又は金銀地金輸出禁止に關する件を公布し、即日より施行の旨を公示されました。

◉絹物制限撤廢　本邦より英國に輸入する額には制限がありましたが、今回は無制限輸入を許可せられたとの事でムいます。

◉國際的救護　今回佛領在チウニス佛國赤十字社補助病院長の懇請により日本赤十字社は國際的共助の趣旨に基いて外科藥品機械繃帶等を取り揃へ寄附することゝなりました。

◉聯合國慰問金　本年の一月から全國に寄附金を募つてゐた聯合國傷病兵慰問金は百九十四萬圓（內十萬圓御下賜金）を各國に分配贈呈すべく「日本より聯合國へ」と題する小冊子を添へて愈々去月廿九日現金を外務省へ托しました。

◉石井特使歸朝期　同道米特使は十月十三日桑港發の所用務の爲二船位延期するらしいとの事。

◉列車給仕の心付け廢止　中部管理局は長尾管理局長就任以來の懸案であつた、列車ボーイの心付廢止の事を愈々十月一日より實行する事となり、九月三十日發表しました。

◉女囚監獨立囑矢　司法省にては獨立女囚監獄の建築の必要上九州全島の女囚を久留米市の一角に收容すべく建築中の處竣成に近づき愈々二百人の女囚を收容することゝなりまりました。遂次全國に亘つて女囚監の獨立に着手する方針だときゝます。

◉教育諮問事項　今回政府より臨時教育會議に諮問すべき事項は

△小中學制度及內容改善に關する件　△中學年限延長の可否　△單科大學に關する件
△高等教育機關增設に關する件△[illegible]

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

育改善に關する件 △小學教育費國庫支辨及補助の可否 △大學教育修業年限に關する件等

◉全國中學校長會議　本月四日より六日迄三日間 東京府立第一中學校に於て全國中學校長有志大會があります。

◉早稻田の新理事　左の五氏が五選されました。内ヶ崎作三郎氏、德永重康氏、宮田脩氏、平沼淑郎氏、吉田東伍氏、

◉市養育院移轉　東京市養育院は近く板橋町に本院を移轉すべく、三十萬圓の寄附を募集中の處、既に十五萬圓の募集を終りたれば、殘額は各區役所を經て募集することゝしました。移轉後は新に白痴低能兒の專門教育部、及び農工業の技術を授くる爲め、工場部を特設することに内定の由。

◉帝國飛行學校設立　曾て所澤飛行隊附教官たりし川上飛行中尉は、今回府下大森町本門寺通に新に 帝國飛行學校を起し來月一日より學生を 收容する由でムいます。

◉モリソン文庫の到着　岩崎男の購入に係るモリソン文庫は、去月二十六日郵船高砂丸に搭載されて 横濱に着しました。同文庫は木箱五十七箱に納められ、其の木箱の大きさは 二尺三寸乃至三尺四寸の容積があるものに 納められてあるそうです。

◉婦人團體の聯合會　去廿七日毛利公邸にて集會。毛利公母堂は大日本婦人教育會々長として立ち、鍋島侯夫人は副會長として、其他の評議員列席されました。更に十月二十日山脇女學校にて 二三他の婦人會と聯合して、講演會を開催、當日は新渡戸博士の談話ある筈。

◉早大の紛擾が婦人界に迄　それは大隈侯夫人會長の 精神病慈善救濟會であります。早大の紛擾が起ると同時に先づ會長が辭任を申出でたので、それを止むべく天野博士夫人が理事を辭しました、次いで高田博士夫人も辭職を申出ました。この主腦三夫人が辭職した爲めにかうして暫らくはこゝにも紛擾が 續きさうでありま す。

◉美術界　△美術協會展覽會　同會五十七回展覽會は 去月廿五日より上野公園櫻ヶ岡にて開催せられました。新古の逸品揃で殊に 松平樂翁公の遺品などご人目をひいてをります。　△文展搬入開始　十月一日から文展出品の搬入が開始されました。大暴風雨の後の日なるにもかゝはらず非常の盛況で 日本畫三十七點洋畫廿九點彫刻四點等。

◉新聞業の打擊、　東京市各新聞社の使用する紙は、大部分浸水或は流失し、猶北海道より横濱に向け出帆せる 旅順丸の行衛不明等の爲、二日印刷の分より、不足となり、且つ汽車不通の不便も加はりたれば、各新聞紙はページを減じ、或は休刊しなければならぬことゝなるでせう。

◉八王子市制となる　八王子町は今回八王子市となり 同時に市制を施かれることゝなりました。

◉名古屋女學校の醜聞　校長檜山友蔵氏と境野五十枝子とに 關する事件の發見者石黒すゞ子及 龍岡清氏の四氏に免職となりました。

◉女の運轉手　自動車學校を卒業した女運轉手が 今度警視廳で試驗をされて免狀を下附されました。渡邊ハマと云ふ二十三才の婦人でした。

◉川上貞奴の引退　同女は女優となつて十五年間故音二郎を 助け新派劇の爲に盡瘁しました。十月五日初日の明治座に名殘の舞臺を開けて、その後は引退する由です。

◉米國閨秀畫家と日本娘　帝國ホテルに滯在中のリリアン・フイスク女史は文展出品の爲に森律子を モデルに初菊の油絵を描き終へたのこと。是の 題材を取つたのは女史が好む處の 日本娘のタイプが律子の初菊に於て 始めて堪能することが出來た故だと申ます。

◉馬肉の中毒　福島縣下で馬肉の折詰で二百五十名中二百名の 中毒患者を出したとの事です。

編輯室より

▲稀なる暴風雨につき、皆樣より早速御見舞を忝うし、厚くお禮を申し上げます。幸 に本社は街燈一ついたます に無事に濟みました。▲只電話の不通な向きが多くあつたのと、一日の夜電燈がつかなくなつたのとで、編輯上には少なからぬ不便を感じました。然しその不便は僅かに一兩日で濟み、今はもうすつかり便利になりました。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依頼者が至當と思はれる程の 低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午時四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）

人事相談所

婦人週報
（毎週金曜發行）

定價表

△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金二十錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の内側）金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割増の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　東京市京橋區銀座四丁目一番地　小橋三四子
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二ノ二目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及(木)午後六時
林、蜂間両副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町 六二番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番
神奈川縣茅ヶ崎海濱（従停車場半里）
河野、高橋両副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

大黒 天印 赤 白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候
東京市日本橋區通旅籠町
宮内省御用達
發賣元 甲斐産商店
電話浪花八七〇、八七一

耳鼻咽喉科専門

大野醫院
院長 耳鼻咽喉科 大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五
（入院随時）

◎産婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町 二三五七

東京至誠病院

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばんとする者にも懇切に教授す 「ピアノ」個人教授の需めに應ず

英語専門私立 櫻井女塾
本郷區彌生町三番地 （電話下谷六八一五番）

產科、婦人科、小兒科

東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫 井出茂代
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電京 二二三一番）

家庭衛生講習會

一、目的 家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す。
一、場所 赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部内。
一、期間 自毎月十六日至次月十五日月水金午時二時より四時迄。
一、講習料 金十圓也前納の事。
一、人員 十名を以て定員とす。
一、證書 講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典 講習修了者は會員として随意に傍聴又は研究する事を得。
一、主催 婦人矯風會本部。
一、講習主任 醫師藤井孝。
右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一七五三）に申込まれたし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

十月の三越

□第卅四回新柄陳列會
□一日より十五日迄

□寄切見切反物賣出し
□一日より……

□第四回美術展覽會
□一日より十日迄

□奠都五十年祭に因みて
明治風俗展覽會
□十日より……

□不昧同好會主催
不昧侯遺品展覽會
□廿日より廿二日迄

東京

三越呉服店

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御料

御園白粉

御園白粉及御園化粧品は畏くも御料に召させ給ふ本邦唯一完全優良なる化粧料にして最新の科學に依り原料と芳香を精選し皮膚の衛生と美容の目的に適ふ配合を以てし冗費を省き包装を飾らず實質を本位とする化粧品なり。

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば安全なるは勿論永久の保存と氣候の變遷に堪へ効能に變化なく濃淡自在乘りよく伸びよく斑點を生せず生れ乍らの美さを現す事化粧品界に其比を見ざる白粉中の模範品なり。

御園白粉
御園の月
御園の花
御園撫子
御園紙白粉
御園四季の花
御園の露
御園の蕾
御園クレーム
御園香精
御園の橘
御園香油
御園歯磨
御園ルチゲン

本舖 伊東胡蝶園 ● 發賣元 丸見屋商店

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA